

事務事業名		定住自立圏構想推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡	
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1331	一般	2	1	7	定住自立圏構想推進事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	26年度～30年度		根拠法令 条例等	定住自立圏構想推進要綱					
	実施方法		直営		事業分類		計画策定・管理事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
国が示す「定住自立圏構想」を推進する。定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、定住に繋がる事業を位置づけた「佐野市定住自立圏共生ビジョン」の策定・見直しを実施する。	平成26年10月27日 佐野市定住自立圏共生ビジョン第1回懇談会開催 平成26年11月11日 佐野市定住自立圏共生ビジョン第2回懇談会開催 平成26年12月4日 佐野市定住自立圏共生ビジョン策定・公表						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	懇談会の実施回数	回	0	2	2	2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

定住自立圏共生ビジョン	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	ビジョン策定・見直し	回	0	1	1	1	1

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

定住に繋がる事業を位置づけた「佐野市定住自立圏共生ビジョン」の策定・見直しを実施する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	佐野市定住自立圏共生ビジョンに位置付ける事業数	事業	0	50	50	50	50

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	休廃止した事務事業数	事業	130	89	115	110	105
	見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595	590	585

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		58	50	100	100	
	事業費計(A)	千円	0	58	50	100	100	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報奨金	50	報奨金	50	報奨金	100
			消耗品費	8				
人件費	人		1	1	1	1		
のべ業務時間	時間		120	120	120	120		
人件費計(B)	千円	0	473	473	473	473		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	531	523	573	573		

事務事業名	定住自立圏構想推進事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国が「定住自立圏構想推進要綱」を平成20年12月に制定した。平成26年4月5日に岩舟町が栃木市へ合併したことから、佐野市への通勤通学割合が0.1以上の市町村が存在しなくなり、「合併1市型圏域」での要件を満たすことが可能となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	わが国では本格的な人口減少社会が到来しており、今後の少子高齢化、人口減少の進行に向けた対応は、本市においても喫緊の課題となっている。こうした状況のなか、人口の流出を食い止め、また首都圏から佐野市への人の流れを創出するため、「集約とネットワーク」の考えの下、地域完結型の都市機能・生活機能を備え、市民が安心して暮らせる持続可能な地域社会を
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	定住促進に向けた取組に関する事業を実施する場合は、圏域の中心地域である旧佐野市の区域だけに偏ることなく、近隣地域である旧田沼町、旧葛生町の区域のことも考慮し、圏域全体が活性化するように事業を実施して欲しい。(平成26年度佐野市定住自立圏共生ビジョン第2回懇談会)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	効率的・効果的な事務事業の執行に貢献すると考えられる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	定住自立圏共生ビジョンの策定は市が行うものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	現在の事業内容は、定住自立圏共生ビジョンを策定し、毎年度見直しを行うもので、対象と意図は合っている。そのため、対象と意図を見直す必要がない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	今後、定住に繋がる事業が増加することにより、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費内訳は委員謝礼のみであり、削減することはできない。 人件費については最低限の人数のため削減することはできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市全体の計画であり、特定の受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	佐野市定住自立圏共生ビジョンの期間は、平成26年度から平成30年度までの期間であるため、平成30年度で事業終了の予定である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			